

## キャリアステージ全体で身に付けるべき能力・役割の明確化（栄養教諭）

～ICT活用の特性・強みを踏まえ、校務等において効果的に活用するとともに、役割と専門性を最大限発揮する力～

キャリアステージ全体	栄養教諭に担うことが求められる職務	ICTの効果的な活用
第4ステージ（ベテラン教員） 教職経験活用・発展期	<p><b>【各教科等における指導への参画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等の教諭と連携を図り、学校教育活動全体における食に関する指導内容を体系的に構築する</li> <li>食に関する指導について目的を明確にし、指導効果の向上を図る支援を行う</li> <li>積極的に指導に参画し、食に関する指導の機会の充実を図る</li> <li>各教科等における指導に参加し、授業で使用できる教材作成などを行う</li> </ul>	<p>◆複数の学級や学校における情報共有・食に関する指導等でのオンラインツールの活用</p>
第3ステージ (目安：11年目～) 実践的指導力充実期	<p><b>【食に関する健康課題のある児童生徒等への個別的な相談・指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康課題を踏まえた個別指導の校内体制づくりを行う</li> <li>児童生徒、日常的な相談指導を行う学級担任に対し、支援を行う</li> </ul>	<p>◆効率的な学校給食の管理業務や家庭等への発信におけるオンラインツールの活用</p>
第2ステージ (目安：4年目～10年目) 実践的指導力向上期	<p><b>【栄養管理（献立作成）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や地域の実態を把握し、児童生徒の健康課題の解決に向けた献立作成を行う</li> <li>学級担任等による食に関する指導を見据えた献立作成を行う</li> <li>児童生徒の実態を把握し、学校実施基準に基づいた適切な栄養管理を行う</li> <li>学校給食摂取基準や食品構成に配慮した献立作成を行う</li> </ul>	<p>◆ソフトウェアやアプリを活用した事務の効率化</p>
第1ステージ (目安：初任～3年目) 実践的指導力習得期	<p><b>【学校給食衛生管理基準に基づく衛生管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生管理者として衛生管理を行い、業務内容の整理や分担を行い効率化を図る</li> <li>学校給食衛生管理基準に基づき、日常的または定期的な点検を行い衛生管理に努める</li> <li>衛生管理に関する指導を行う際には、児童生徒や教職員に指導・助言を行う</li> <li>学校薬剤師等の協力を得て施設設備に問題がある場合は報告を行い、必要な措置を講ずる</li> </ul>	<p>◆給食運営業務のデジタル化</p>
教員としての心構えや公務員としてのモラル、学習指導要領、教育課程、食に関する指導、学校給食の管理についての基礎的知識及び指導力を身に付ける 【理解と実践】		